

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・愛知万博が始まり、消費者の購買意欲が増してきている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・周辺の石油関連工場の客は、引締めで購買を控えているようだが、最近プラントの配管関係の客の反応が良くなっている。3、4月は、小売業も若干ながら良い影響を受けている。
	やや良く なっている	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・景気回復感の表れが、何十万円もする輸入高級腕時計の売上が予算、前年比とも120%以上の伸びとなっている。
		百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・婦人服など衣料品の動きは依然として苦戦しているが、新入学祝いやその返礼などギフト需要が従来になく好調で、単価も向上している。消費に対する若干の余裕が感じられる。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数が若干増加し、客単価も多少上がっている。	
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・4月から婦人物は徹底して頻度仕入れに切り替えている。価格帯は上がったが、客の反応が良く、婦人物の売上は大きく伸びている。	
	衣料品専門店（次長）	販売量の動き	・前年比102%程度の販売量増が続いている。	
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・4月はエアコン関係が良く売れている。2、3か月前と比較すると、デジタル家電の動きも良くなっている。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・例年の4、5月の受注の冷え込みに比べると、受注が順調に推移している。	
	その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	販売量の動き	・例年に比べて今年は花粉飛散量が多く、関連商品の需要が高まっている。健康食品の売行きも良く、全体の数字を押し上げている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3月は前年比105.1%、4月は前年比108.5%でさらに好調に売上が伸びている。新入社員研修を順調に取り込めたことが大きい。	
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・大型の団体客を数件受注できて、稼働率が上昇している。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・昨年の4月と比べると、国内の団体旅行客数は若干増加している。特に、熊野古道の南紀地区は増加が顕著である。	
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新築の物件にケーブルテレビ及びインターネットを勧めているが、客の反応は良く、両方に加入するという客が増えている。	
設計事務所（所長）	お客様の様子	・具体的な仕事の契約が成立し、多少前向きに進んでいる。		
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数の動きは多少良くなっているが、販売単価が伸びない状況が続いている。
		一般小売店[米穀]（経営者）	単価の動き	・昨年の不作の影響で、大豆やきび、あわが高騰しているが、値上げに対する客の反応は厳しい。
		一般小売店[衣料・雑貨]（経営者）	お客様の様子	・気温の上昇により春夏物の商品の動きが良くなっており、値ごろのジャケット物の動きが良い。全体としてはまずまずである。
		一般小売店[C/D]（営業担当）	単価の動き	・販売数は、前年同時期に比べ増加してきているが、客単価が落ち込み、全体としては横ばいとなっている。
		一般小売店[靴・袋物]（従業員）	お客様の様子	・季節イベント需要、ギフト需要については、クリスマスからパレンティン、ホワイトデー、新入学を分析してみると、前年比で150%、単価も2割増しで推移している。日用品については、前年比70%である。
		一般小売店[茶]（営業担当）	お客様の様子	・専門店へのこだわりがあるのか、4月は仏事関係商品の買い求めが多くあり、売上は昨年水準に達している。
		百貨店（広報担当）	お客様の様子	・4月末からの大型連休を前に、旅行などに伴う需要を見込んでいたが、予想以上に商品の売行きが鈍い。

百貨店（広報担当）	販売量の動き	・4月は天候に恵まれ、土曜日が昨年より1日多いこともあり、売上は1月以来3か月ぶりに前年同月を上回る見込みである。婦人紳士ともに春物、初夏物衣料、化粧品や食品が好調に推移している。一方、郊外店では競合環境が厳しくなるなかで、来客数、単価ともに下落傾向が続いており、全体的に苦戦を強いられている。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・来客数は順調に推移しているが、商品ごとの好不調が激しい。婦人やアクセサリーは来客数の伸びと比例して順調だが、紳士や生活雑貨系の動きが鈍く、総合すると売上は伸びていない。
百貨店（販売管理担当）	来客数の動き	・4月は前年より雨が4日多く、ミセスが主力客の百貨店の来客数は、前年比95.2%となっている。客単価が多少上がっているため、売上は前年をやや下回る程度で推移している。最低気温の平均が前年より3度低く、春物の動きが心配されたが、婦人服のプロパーは売れている。食品では、競合店の影響で生鮮や洋菓子が苦戦している。
百貨店（業務担当）	お客様の様子	・ここ1、2か月、物産展等を開催すると販売量は増加するが、物産展以外のフロアでの売上が増加しない。欲しい物は買うが、不要な物は買わない、買い回りをしないという客の様子は2か月ほど続いている。
スーパー（経営者）	販売量の動き	・消費税の総額表示が始まった昨年4月と比べると、好調に推移しているが、客の購買姿勢がシビアな状況は変わっていない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・販売点数の減少が依然として続いている。一品当たりの単価が、ほんのわずかだが上昇している。4月の特徴として、新製品のビールが非常に好調に推移している。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は増加しているが、客単価は低下している。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・気候の変化が激しく、商品単価は落ちているが、ジャケット類、上着類の点数は微増である。また、サプリメントも取扱っているが、売上が徐々に増加している。
乗用車販売店（渉外担当）	販売量の動き	・4月の新車販売は、予算達成率見込み80.8%、前年同月比マイナス5.2%、中古車販売は前年同月比見込みマイナス20.4%と苦戦している。新車では小型セダンの落ち込みが大きい。
その他専門店【眼鏡】（店員）	販売量の動き	・連休を前に、例年サングラスの販売量が伸びる時期だが、今年は例年の95%前後と動きが良くない。買上単価についても2500円程度落ち込んでいる。
高級レストラン（支配人）	単価の動き	・1月と比べると、客単価が688円ほど低くなっているが、来客数は若干増えており、売上はほとんど変わらない。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・歓送迎会をランチで行う受注が例年は1、2件だが、今年は5社あった。
一般レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・家族連れやカップルの客が減少している。接待関係はそれほど変わりはない。夜の動きも鈍くなっている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・通常4月は新入社員の歓迎会等があるが、今年は数が少なく、昨年に比べて4割程度来客数が少ない。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・朝食やレストランの利用は堅調だが、4月後半はバーの接待利用が減少している。大きな落ち込みはなく、予想数値をやや下回る程度である。
旅行代理店（営業担当）	それ以外	・4月に入り新規受注が増加している反面、韓国や中国での反日運動に伴うキャンセルが相当発生している。
タクシー運転手	お客様の様子	・一般客と顧客のタクシー利用は、この数が月上向いたまま落ち着いている。特に、ターミナル駅や周辺私鉄駅のタクシー乗場では、客の列が絶えない。一方で、法人タクシーの台数も大きく増加している。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・キャンペーンと新サービス投入による効果は出ているが、解約数は横ばい状態である。若干、加入増が見込める。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・デジタル放送への変更は堅調であるが、インターネットが低調に推移している。

	観光名所（職員）	来客数の動き	・天候に恵まれているにもかかわらず、来客数が前年比78%と、思うように伸びていない。
	その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	販売量の動き	・家庭用ゲームについては、携帯用のゲーム機が人気となっており、それに伴いゲームソフトもよく売れている。市場規模は、ここ数年右肩下がりが続いていたが、昨年度上昇に転じ、その流れが当月にも及んでいる。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・ハウスメーカーは良いが、町の建築設計事務所等は苦しい。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新築建物の受注は横ばいである。不動産の売買関係については、相変わらず低迷している。
やや悪くなっている	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	お客様の様子	・オーバーストア状態で、どこへ行っても同じような商品が同じような値段で買えるので、客は衝動買いをしない。レジャーの一部として買物する場合は大型のショッピングモールへ、日用品は近所で買物をするというように、目的買いが増加しており、固定客が安定しない。
	一般小売店〔家具〕（経営者）	単価の動き	・本来ならば、4月に売上が増加するのだが、単価が低い商品しか売れない。
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	お客様の様子	・4月は新茶が発売され、売上の伸びが期待できる月であるはずなのに、前注文の予約新茶の売上が今一つ伸びない。
	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・買上点数、単価ともに前年割れが続いている。
	百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・近隣へのショッピングセンターの出店など外的要因もあり、来客数の落ち込みが大きい。来客数の減少に応じて婦人、紳士、リビング部門の売上が落ち込んでいる。服飾雑貨、食品は前年を維持しているが、全体としてはマイナスとなっている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・連休前後は毎年来客数が減少するが、今年は4月末に大手スーパーの新店舗が開店し、例年に増して来客数が減っている。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数、客単価が伸びず、前年同月に比べ売上が大幅に減少している。近隣の同業他社2店舗が廃業し、厳しさを実感している。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・天候に左右され、春物の動きが悪い。気温の変化が大きく、商品の購入を客が迷っており、結果的に客単価の低下も招いている。4月は昨年比で売上が3割程度減少している。
	家電量販店（店長）	競争相手の様子	・現状、消費をけん引しているデジタル家電の価格が、顕著に崩れてきている。
	住関連専門店（統括）	販売量の動き	・来客数はある程度あるが、契約件数、販売量の動きが悪い。
	一般レストラン（店長）	それ以外	・4月から、営業時間を延長しているが、売上は変わらない。時間の延長がなければ確実に悪くなっている。
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・隣接しているアウトレットモールが新たな店舗をオープンさせたため、当レストランも売上増を見込んでいたが、前年同月よりも売上が落ち込んでいる。婚礼、宴会等の売上も低迷し、全体的に売上が低迷している。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストランの来客数が伸びない。周辺のイベントに金落ちるような大人向けのものが少なかったのが一因と考えられる。また、周辺に新規出店したゲストハウススタイルの式場の影響と思われるが、婚礼の新規来館組数も伸びない。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・これまで増えていた受注の勢いが、このところ前年並みの数字に落ち着いてきている。
タクシー運転手	それ以外	・客の様子、単価の動きは特に変わらないが、燃料の価格が上がって経費がかかり過ぎている。	
その他レジャー施設（経営企画担当）	お客様の様子	・必要な商品、サービスであるかどうかの消費者の選択が厳しくなっており、従来は人気のあったプロスポーツ関係の商品、サービスに対する引き合いが弱まっている。	

		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・現在の工事の受注量は少なく、価格も低い。住宅の分譲についても、販売量が以前と比べて極端に少なくなっており、利益がほとんど出ない状況で分譲している。
悪く なっている		衣料品専門店 (経営者)	競争相手の様子	・自店も競合店も悪くなっており、ショッピングセンター内で閉店する店も出ている。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・例年は卒業式、入学式で客が結構来るが、今年は客の来店頻度が鈍いままである。
		設計事務所(所長)	競争相手の様子	・競争相手の中で今まで好調だった企業も、最近、受注高が減少し、目先の仕事に追われる状況になっていると聞いている。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・決算時期や年度末に向けてのキャンペーン展開が一段落し、来客数、販売量ともに落ち込んでいる。供給物件の良し悪しにもよるが、チラシの反響が極端に落ち込んでいる。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	出版・印刷・同 関連産業(営業 担当)	受注量や販売量 の動き	・3か月前と比較して、企業向けのゴム印は1.5倍となっている。 ・医療関係のクリニックなどの新規開設による特需がある。
		建設業(経理担 当)	取引先の様子	・中規模の工事件数の話が数件動き出している。取引先が、計画していた工事を本格的に考え始めている。
		金融業(渉外担 当)	それ以外	・都心一等地を始めとする商業地の地価が、明らかに上昇に転じている。不動産ファンドや外資の運用資金が不動産に流入している証拠である。
		不動産業(従業 員)	受注量や販売量 の動き	・工場用地や住宅用地の受注が増加している。
		不動産業(総務 担当)	取引先の様子	・当社所有ビルに対するオフィス需要は引き続きおう盛であり、既存テナントからの退室予定の話も聞こえてこない。
		税理士	それ以外	・中小企業で倒産しそうだった取引先が、息を吹き返している。
		経営コンサル タ	受注量や販売量 の動き	・小規模な事業ではあるが、飲食、サービス業の出店、開業相談が増加している。
		その他サービ ス業[廃棄物処 理](経営者)	受注量や販売量 の動き	・法改正の影響などで新規の問い合わせなどがあり、受注量が若干増えている。
	変わらない	食料品製造業 (経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・菓子類をみると、自家使用分は購入するが、贈答品は極力買わない傾向がみられる。
出版・印刷・同 関連産業(経営 者)		受注量や販売量 の動き	・受注量は多くなっているが、価格は厳しくなっている。	
プラスチック製 品製造業(経営 者)		受注価格や販売 価格の動き	・受注量は若干増加しているが、原油価格の高騰による材料値上げに歯止めがかからず、価格転嫁しようとする海外生産に切り替えると決まり文句が返ってくる。	
金属製品製造業 (経営者)		取引先の様子	・新年度予算が動き出しているが、絶対予算が少ない。下請にまわる予算が少なく、価格競争になり、単価も下がり気味であるが、高精度の製品価格はそれほど下がっていない。	
一般機械器具製 造業(経営者)		受注量や販売量 の動き	・取引を引き上げる既存客がある一方、新規客から入ってくる仕事もある。	
輸送業(経営 者)		取引先の様子	・荷主先の話では、競争が激しく受注単価が下がり、なかなか受注ができないようで、全く良い話はない。	
輸送業(総務担 当)		競争相手の様子	・物流同業者は、環境対応のための車両の代替えが資金的に無理なので、減車せざるを得ないと話している。当社も代替えの資金調達に苦慮している。	
金融業(審査担 当)		取引先の様子	・取引先の税理士によれば、大企業は利益を計上しているものの、中小企業は依然として厳しい。大企業下請の建設業者は、特に厳しい様子である。	
その他サービ ス業[情報サー ビス](従業員)		取引先の様子	・今年度の情報通信関連設備投資について予算申請を開始する時期になってきているが、予算取りの提案依頼が比較的少ない。	
やや悪く なっている	金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・取引先の素材メーカー営業担当の話では、利益は確保しているが価格改定によるもので、出荷は減少傾向にあるとのことである。	

		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・ゼネコン、サブコンは、性能よりも価格だけを重視し、徹底的に競合させて、10円でも安いところから購入している。これでは利益が出ないので、まともな商品は売れない。
	悪くなっている	繊維工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・今年の春夏物の価格や見積から判断すると、海外のほうが生産しやすい状況があり、国内での仕事の確保は難しい。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月は、受注量、販売量ともに激減している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・企業からの求人数が増加しており、スタッフの確保に苦戦している。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・アルバイトやパートを募集しても、なかなか希望する人材が集まらないという話をよく聞く。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・金融リテールから、ローン、証券要員の派遣要請が多い。
		求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き	・新卒採用を中止、保留していた企業で、急きよ、復活する会社が出始めている。
		求人情報誌製作会社（編集担当）	求人数の動き	・求人の件数が増加し始めており、業種も多岐に渡ってきている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求職申込件数が5か月連続で前年同月を10%以上回っている。特に、パートタイム希望者が大幅に減少している。新規求人も増加が続いているが、パートは減少している。企業が常用、正社員を求め始めており、これに伴い就職件数も増加している。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・求人企業の採用の意思決定が迅速になってきている。
	学校〔専門学校〕（教務担当）	求人数の動き	・コンピュータ系企業の求人が特に多く、学生の方が迷ってしまっている状態である。	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・売上が上がらないため、会社は賃金の低い若い販売員を短期で雇用し、様子を見てから採用するケースが多くなっている。ベテラン販売員は、高賃金や百貨店の採用年齢制限のため、売り場を降ろされ、次の仕事に就くのが困難な状況である。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・3月から4月中旬までは求人数が昨年を上回っていたが、4月後半から少しずつ失速気味で、特に正社員の募集が減少傾向にある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人数は増加しているものの、求人の内容に偏りを感じる。清掃、ドライバー、警備、ピッキング等、スキルではなく単にマンパワーを必要としている募集が多く、若い人に魅力ある募集が少ない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比27.1%増加したが、請負、派遣、有期求人が全体の17.8%となり、前年同月比で2倍になっている。
学校〔専修学校〕（就職担当）		求人数の動き	・新卒求人獲得数は、前年同月比で大きな変化はなく、ほぼ横ばいである。	
やや悪くなっている	-	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	-